



レッズ新聞

005号

発行所
広島レッズ事務局



作成：R18

4年連続 全国大会出場!

全日本女子軟式野球選手権の山陽支部予選が五月二十一日、周南市の周南緑地運動公園であり、広島レッズ(広島市)が周南オールスターズ(周南市)を8-3で破り、四年連続で全国大会への切符を手に入れた。全国大会は八月十二日、十四日、東京都の江戸川区球場をメインに開かれる。

レッズは一回裏、松島、二井が四死球で出塁。無死一、二塁から山根の捕手前バントが安打になって先制。続く阪本も死球満塁となり、後藤の犠飛で2点を挙げた。

一回裏には、一死二塁から松島がホームラン級の特大三塁打を放って加算。二井の内野安打、山根の内野ゴロなどで5-0とした。

周南に2点差に迫られた五回裏、レッズは先頭の後藤が中堅前安打で出塁。蒲谷、升井、岡の三四球で押し出しとなり、松島の二塁打で2点を挙げ、8-3と引き離した。

投手 後藤は、三回表に3本の被長短打などで3点を失ったが、四回には持ち直して三者凡退にするなど完投した。

	1	2	3	4	5	6	7	R
周南	0	0	3	0	0			3
レッズ	2	3	0	0	3			8

周) 石本、中村 大垣、岸本 三) 岸本
レ) 後藤 松島 三) 松島 二) 松島



全国大会出場のためのご協力・カンパをお願い致します。

メンバー募集中!

毎週土曜日 五月ヶ丘で練習中
野球の大好きな女性お待ちしております

山陽支部予選ではハラハラする場面もありましたが、お互いを信じて、みんなで流れを作ることが出来たと思います。監督のもと、みんなが一年間作り上げてきた成果です。昨年の全国大会は、一回戦で悔しい思いをしました。今年も、これがレッズだという野球を思う存分やりましょう。

(吉田代表)

ゲームセットの瞬間、全身の力が抜けた。彼女たちの頑張りを知っている分、山陽支部予選は絶対落とせない試合でした。私の力じゃない、メンバーの全国への強い気持ちがないと結果です。4度目の全国出場、一試合でも多くメンバーと野球をしたい。野球を存分に楽しんだ彼女たち、好きな野球を存分に楽しんでくるはずですよ！

(前川監督)

全国大会出場おめでとう！4年連続山陽地区王者です。そろそろ「強さ」を意識して全国に挑もう。経験者は知っています。レッズオールインです。

(鶴田コーチ)

一生懸命

(水草コーチ)

全国大会に向けて

気負わず、緊張らず、自分の力を120%出し、去年以上の成績を発揮したい！(阪本)

初の全国だから、レッズや他のチームからたくさんの方を学ぶ！(日岡)

前向きに考え、自分を信じ、一日、練習するのみ！(後藤)

自分にとって3度目の全国大会！自分にとっても、チームにとっても良い結果を残す！(生谷)

チームを信じ、自分を信じ、暑い夏を！(二井)

また夏が来ます。野球もレッズも好きです。なのでできることをやるのみ(塩谷)

ボールを怖がらず、一球一球大切に、落ち着いてプレーする(蒲谷)

悔いが残らないように精一杯プレーして活躍する！(岡)

野球と仕事の両立を！予選は参加できずでしたが、全国は行けるよ努力します！(今上)

レッズパワーの一部になれるよう練習します！(河本)

堂々たるプレーが出来よう気持ちを高め、全国で新たな一歩を踏み出せるよう全身全霊で臨みます(升井)

悔いが残らないよう、一球を大事にプレーしていきたい(山根)

とにかく楽しく遅く(石橋)

自分自身、初となる全国大会。大きな声を出し全力プレーをしたいです(山元)

去年の大会で見つけた自身の課題を生かして全国大会での勝利に努めたい！！(松島)

行けたら力を出し切りしたいです。あと精神力を鍛えます(下鍛治)

